

[論文]

外国語指導助手 (ALT) が小・中学生の
英語学習に対する意識及び中学生の
英語力にもたらす効果に関する調査研究

向後 秀明・游 韋倫

A Research Study on the Effects that
Assistant Language Teachers (ALTs)
Bring About on Elementary and
Junior High School Students' Attitude
Toward English Learning, and
Junior High School Students' English Skills

KOHGO Hideaki / YU Weilun

English classes at elementary, junior high, and senior high schools in Japan are conducted not only by Japanese Teachers of English (JTEs) but also through team-teaching with native speakers of English who are called Assistant Language Teachers (ALTs). In 2019, almost 20,000 ALTs were sent to schools all over Japan from recruitment agencies or through the Japan Exchange and Teaching (JET) Programme carried out by the Ministry of Internal Affairs and Communications, the Ministry of Foreign Affairs, and the Ministry of Education, Culture, Sports and Science. Though team-teaching with ALTs has a long history in Japan, the effects have not been fully examined, and some experts and JTEs are ambivalent about team-teaching with ALTs. Due to these circumstances, we conducted a survey of 16,236 elementary school students and 11,902 junior high school students to measure the effects of introducing ALTs into English classes, with the aid of Link Interac Inc., which is Japan's largest provider of ALTs. The

purpose of this paper is to show part of the survey results and what they suggest for the improvement of English education in Japan.

1. はじめに

1987年に自治省（現総務省）、外務省、文部省（現文部科学省）及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力によって、「語学指導等を行う外国青年招致事業（The Japan Exchange and Teaching Programme）」（以下、JETプログラムという）が開始された。当時、高等学校の教員2年目だった筆者は勤務校で同プログラムの担当となり、外国語指導助手（Assistant Language Teacher、以下、ALTという）を初めて迎え入れた。大学を卒業したばかりのNew Yorkerであったが、学校のみならず近隣地域が歓迎ムード一色になったことを鮮明に覚えている。そのJETプログラムも2021年には35年目を迎え、参加者はこれまでに約75ヵ国から70,000人を超える。また、JETプログラムとは別に、自治体独自でALTを直接任用したり、民間企業から派遣されるALTを活用したりするケースも多くなっている。実際、文部科学省の令和元年度「英語教育実施状況調査」によると、同年度の小・中・高等学校におけるALT活用人数は19,729人で、内訳はJETプログラム5,117人（25.9%）、直接任用3,656人（18.5%）、労働者派遣契約4,490人（22.8%）、請負契約1,733人（8.8%）、その他4,733人（24.0%）で、JETプログラム以外のALTが74.1%を占めている。

現在では、小・中・高等学校の英語の授業に、日本人教員とともに、基本的にはネイティブ・スピーカーであるALTがいることが日常的な光景となっている。当然のことながら、ALTは児童・生徒にとって自分たちが学習している英語を使うモデルとしての存在であり、学習の過程で様々な効果が期待できる。しかし、ALTを英語の授業に配置することによって具体的にどのような効果が生じるのかについて、これまで十分には検証されてこなかった。そのことが一因となって、「多額の費用を投じ

てまで行う価値のある事業なのか」、「英語指導のプロフェッショナルである日本人の英語教員がいればALTは不要ではないか」といった議論が有識者や英語教員、さらには事業予算を割り当てる自治体の中で何度となく交わされてきた。

そこで、ALTの活用効果を客観的に検証するため、日本の小・中・高等学校へALTの配置を行っている株式会社リンク・インタラック（以下、リンク・インタラックという）の協力を得て、2021年6～7月に全国の小・中学校において、英語や英語学習に関するアンケート調査及び英語テスト（中学校のみ）を実施した。本稿では、それらの結果の一部を示して分析するとともに、今後の英語教育の改善に向けて調査結果が示唆することについて考察することとする。

2. 調査概要

(1) 調査目的

小学校学習指導要領（平成29年告示）「外国語」及び中学校学習指導要領（同）「外国語」において育成が求められている資質・能力に関し、小・中学生の英語や英語学習に対する意識並びに中学生の英語の「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を調査することによってALTの活用効果を検証し、今後の英語教育改善に資する。

(2) 調査実施期間

2021年6月～7月。

(3) 調査対象学校数及び回答者・受験者数

リンク・インタラックのALTが配置されている全国の小・中学校の内、当該自治体の教育委員会及び学校から本調査の実施について承諾を得られた次の小学校6年生及び中学校3年生を対象とした。

	小学校6年生	中学校3年生
アンケート調査*1	学校数：334校 回答者数：16,236名	学校数：139校 回答者数：11,902名
英語テスト*2		学校数：87校*3 受験者数：6,228名

※1 アンケート調査は、小・中学校のいずれでも実施。

※2 英語テストは、中学校のみで実施。

※3 英語テストを受験した87校は、アンケート調査に回答した139校に含まれる。

(4) 調査手法・内容

① アンケート調査（小・中学校）

英語又は英語学習に対する意識等に関する質問（小学校は10問、中学校は13問）で、「とてもそう思う」、「どちらかと言えばそう思う」、「どちらかと言えばそう思わない」、「ほとんどそう思わない」の4件法とした。

質問内容は、次の通りである。なお、質問の作成に当たっては、「平成26年度小学校外国語活動実施状況調査」（文部科学省）、「平成29年度英語教育改善のための英語力調査」（同前）及び「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」（国立教育政策研究所）を参考にした。

小学校6年生(10問)	
Q1	英語の勉強は楽しい。
Q2	これからも英語を学び続けたい。
Q3	外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい。
Q4	自分の考えや気持ちを英語で伝えてみたい。
Q5	外国の人たちと英語で話してみたい。
Q6	外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい。
Q7	外国の人と友だちになりたい。
Q8	外国のテレビ番組や映画を英語のままで見たい。
Q9	英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読んでみたい。
Q10	将来、英語を使って仕事をしたり、外国の人たちと一緒に仕事をしたい。
中学校3年生(13問)	
Q1	英語の勉強は楽しい。
Q2	これからも英語を学び続けたい。

Q3	外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい。
Q4	自分の考えや気持ちを英語で伝えてみたい。
Q5	外国の人に英語で質問されたら、英語で答えてみたい。
Q6	外国の人たちと英語で話してみたい。
Q7	外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい。
Q8	外国の友だちを作りたい。
Q9	外国のテレビ番組や映画を英語のままで見たい。
Q10	英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読みたい。
Q11	将来、英語を使うような生活をしたり仕事をしたりしたい。
Q12	学んだ英語を活かして、将来の生活や仕事の役に立てたい。
Q13	外国の人と一緒に仕事したい。

② 英語テスト（中学校）

中学校のみで実施した英語テストは、実用英語技能検定（以下、英検という）4級レベルを中心（一部、同3級レベル）としたオリジナル作成の20問で、4択方式とした。今後の調査継続のために、実際のテスト問題は非公開としている。

大問	小問	レベル	出題内容
1	(1)－(9)	4級程度	短文又は会話文中の空所に適切な語(句)を補う。 語彙4問、熟語3問、文法2問。
2	(10)－(14)	4級程度	会話文中の空所に適切な文又は文の一部を補う問題5問。
3	(15)－(17)	4級程度	長文の内容に関する質問に答える問題3問。
4	(18)－(20)	3級程度	長文の内容に関する質問に答える問題3問。

③ 検証事項

英語の授業にALTが配置されている小学校6年生及び中学校3年生に対して実施した本調査において、アンケート調査及び英語テストにより、次の3点を検証する。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ALT1人当たりの児童・生徒数（ALTの配置割合）が、小・中学生の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響 2. ALTの英語授業への参加頻度が、小・中学生の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響 3. ALTの英語授業への参加頻度が、中学生の英語力に及ぼす影響 |
|---|

3. ALT 1人当たりの児童数が 小学生の英語に対する意識に及ぼす影響

(1) 分析手法

小学校において、ALT 1人当たりの児童数、つまりALTの配置割合が小学生の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響を探るため、調査対象とした小学校が属する自治体を「ALT 1人当たりの児童数が800名未満の自治体」と「同800名以上の自治体」の2つに分け、アンケート調査とのクロス集計を行った。800名で母集団を分割した理由は、調査対象とした自治体ではALT 1人当たりの児童生徒数が最大1,600名で、その中間値の800名を分岐点としたためである。

(2) ALT 1人当たりの小学校児童数×

アンケート調査クロス集計結果

※A：「とてもそう思う」/B：「どちらかと言えばそう思う」（←肯定的回答）

C：「どちらかと言えばそう思わない」/D：「ほとんどそう思わない」（←否定的回答）

※本調査では小数点以下第2位を四捨五入しているため、集計・値の合計が100%とならない場合がある。（以下、同じ）

【Q1：英語の勉強は楽しい。】

児童数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	39.4%	40.3%	14.5%	5.8%
	肯定的 79.7%		否定的 20.3%	
800名以上	39.2%	40.2%	14.8%	5.8%
	肯定的 79.4%		否定的 20.6%	

【Q2：これからも英語を学び続けたい。】

児童数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	45.1%	37.2%	13.2%	4.5%
	肯定的 82.3%		否定的 17.7%	
800名以上	44.8%	37.1%	13.2%	5.0%
	肯定的 81.9%		否定的 18.2%	

【Q3：外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	40.4%	34.9%	17.8%	6.9%
	肯定的 75.3%		否定的 24.7%	
800名以上	36.6%	37.7%	18.2%	7.5%
	肯定的 74.3%		否定的 25.7%	

【Q4：自分の考えや気持ちを英語で伝えてみたい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	40.3%	35.3%	17.0%	7.5%
	肯定的 75.6%		否定的 24.5%	
800名以上	37.9%	35.4%	18.8%	7.9%
	肯定的 73.3%		否定的 26.7%	

【Q5：外国の人たちと英語で話してみたい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	43.0%	29.2%	18.1%	9.8%
	肯定的 72.2%		否定的 27.9%	
800名以上	39.9%	30.0%	19.7%	10.5%
	肯定的 69.9%		否定的 30.2%	

【Q6：外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	22.9%	32.0%	28.8%	16.3%
	肯定的 54.9%		否定的 45.1%	
800名以上	20.5%	31.6%	30.1%	17.7%
	肯定的 52.1%		否定的 47.8%	

【Q7：外国の人と友だちになりたい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	44.3%	29.3%	17.1%	9.3%
	肯定的 73.6%		否定的 26.4%	
800名以上	41.4%	31.2%	17.4%	10.1%
	肯定的 72.6%		否定的 27.5%	

【Q8：外国のテレビ番組や映画を英語のままで見たい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	24.2%	27.3%	26.3%	22.2%
	肯定的 51.5%		否定的 48.5%	
800名以上	24.8%	25.8%	27.2%	22.2%
	肯定的 50.6%		否定的 49.4%	

【Q9：英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読みたい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	20.8%	28.8%	29.0%	21.3%
	肯定的 49.6%		否定的 50.3%	
800名以上	20.5%	27.1%	30.3%	22.2%
	肯定的 47.6%		否定的 52.5%	

【Q10：将来、英語を使って仕事をしたり、外国の人たちと一緒に仕事をしたい。】

児童数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	39.4%	34.1%	20.5%	6.0%
	肯定的 73.5%		否定的 26.5%	
800名以上	38.1%	35.7%	20.1%	6.0%
	肯定的 73.8%		否定的 26.1%	

(3) ALT1人当たりの小学校児童数× アンケート調査から予想されること

アンケート調査の10問中9問(90%)で、ALT1人当たりの児童数が800名未満の自治体が、同800名以上の自治体より肯定的な回答(「とてもそう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」)をした小学校6年生の割合が高くなっている。



自治体ごとに、より多くのALTを配置する(=ALT1人当たりの児童数をより少なくすることによって、小学生の英語学習や実際の場面での英語使用に対する肯定感を高めることができる可能性が高い)。

また、上記9問の内4問では両者の差が2ポイント以上となっていて、ALT1人当たりの児童数が800名未満の自治体の方が、Q4(自分の考えや

気持ちを英語で伝えてみたい」とQ5（外国の人たちと英語で話してみたい）で2.3ポイント、Q6（外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい）で2.8ポイント、Q9（英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読んでみたい）で2.0ポイント高くなっている。



自治体ごとに、より多くのALTを配置する（=ALT1人当たりの児童数をより少なくする）ことによって、小学生が英語を用いてコミュニケーションを図ったり、外国の人たちと関わったりすることに積極的になる可能性がある。

さらに、肯定的な回答の内「とてもそう思う」に絞って見てみると、ALT1人当たりの児童数が800名未満の自治体が同800名以上の自治体より2ポイント以上高くなっているのは3問である。具体的には、ALT1人当たりの児童数が800名未満の自治体の方が、Q3（外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい）で3.8ポイント、Q5（外国の人たちと英語で話してみたい）が3.1ポイント、Q7（外国の人と友だちになりたい）で2.9ポイント高くなっている。



自治体ごとに、より多くのALTを配置する（=ALT1人当たりの児童数をより少なくする）ことによって、外国の人たちや外国に対して強い興味関心を持ったり、実際の場面で英語を用いてコミュニケーションを図ることに対して強い意欲を持ったりする小学生が増える可能性がある。

4. ALTの授業参加頻度が 小学生の英語に対する意識に及ぼす影響

(1) 分析手法

小学校において、ALTの英語の授業への参加頻度が小学生の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響を探るため、ALT1人当たりの児童数が800名未満の（=ALTの配置割合がより高い）自治体を対象として、ALTの英語への授業の参加頻度が「週に2回程度」、「週に1回程度」、

「隔週に1回程度」の3つのグループに分け、アンケート調査とのクロス集計を行った。なお、小学校第5学年及び第6学年における「外国語」は、週2単位が配当されている。

(2) ALTの小学校の英語授業への参加頻度× アンケート調査クロス集計結果

※A：「とてもそう思う」／B：「どちらかと言えばそう思う」（←肯定的回答）

C：「どちらかと言えばそう思わない」／D：「ほとんどそう思わない」（←否定的回答）

【Q1：英語の勉強は楽しい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	39.3%	40.7%	14.2%	5.7%
週に1回程度	40.4%	38.9%	14.6%	6.0%
隔週に1回程度	38.5%	44.7%	12.9%	3.8%

【Q2：これからも英語を学び続けたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	45.1%	37.8%	12.7%	4.5%
週に1回程度	45.8%	35.3%	14.2%	4.7%
隔週に1回程度	43.2%	43.2%	10.3%	3.2%

【Q3：外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	39.7%	35.7%	18.0%	6.5%
週に1回程度	41.3%	33.8%	17.6%	7.3%
隔週に1回程度	40.0%	37.6%	16.8%	5.6%

【Q4：自分の考えや気持ちを英語で伝えてみたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	40.7%	34.5%	17.7%	7.1%
週に1回程度	40.4%	34.6%	17.2%	7.8%
隔週に1回程度	42.5%	34.8%	14.7%	8.0%

【Q5：外国の人たちと英語で話してみたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	41.3%	29.9%	18.9%	9.9%
週に1回程度	43.6%	28.9%	17.9%	9.6%
隔週に1回程度	42.3%	30.1%	19.9%	7.7%

【Q6：外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	23.3%	31.7%	28.4%	16.5%
週に1回程度	22.8%	31.6%	29.7%	15.9%
隔週に1回程度	18.3%	39.2%	27.4%	15.0%

【Q7：外国の人と友だちになりたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	44.3%	30.1%	16.3%	9.2%
週に1回程度	44.9%	28.0%	17.6%	9.5%
隔週に1回程度	44.7%	30.5%	18.3%	6.5%

【Q8：外国のテレビ番組や映画を英語のままで見たい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	24.9%	26.8%	26.3%	22.0%
週に1回程度	23.0%	28.0%	26.7%	22.3%
隔週に1回程度	23.9%	27.4%	26.0%	22.7%

【Q9：英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読みたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	22.1%	28.7%	28.2%	20.9%
週に1回程度	19.2%	28.7%	30.3%	21.7%
隔週に1回程度	18.3%	32.4%	28.6%	20.6%

【Q10：将来、英語を使って仕事をしたり、外国の人たちと一緒に仕事をしたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に2回程度	26.9%	29.7%	27.5%	15.9%
週に1回程度	25.8%	30.8%	27.4%	16.0%
隔週に1回程度	25.1%	32.4%	26.3%	16.2%

(3) ALTの小学校の英語授業への参加頻度×

アンケート調査から予想されること

ALT1人当たりの児童数が800名未満の(=ALTの配置割合がより高い)自治体グループに絞ってクロス集計を行ったが、全体としては、ALTの英語授業への参加頻度による大きな影響は見られなかった。しかし、Q6(外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい)、Q8(外国のテレビ番組や映画を英語のままで見たい)、Q9(英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読みたい)、Q10(将来、英語を使って仕事をしたり、外国の人たちと一緒に仕事をしたい)の4問で、ALTの英語の授業への参加頻度が最も高い(週2回程度)自治体で「とてもそう思う」と回答した小学校6年生の割合が最も高くなっている。



ALTの授業への参加頻度を上げる(週当たりの授業参加回数を増やす)ことによって、英語の読み書きや、現在及び将来の英語使用に対して強い意欲を持つ小学生が増える可能性がある。

5. ALT1人当たりの生徒数が

中学生の英語に対する意識に及ぼす影響

(1) 分析手法

小学校と同様に、ALT1人当たりの生徒数、つまりALTの配置割合が中学生の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響を探るため、調査対象とした中学校が属する自治体を「ALT1人当たりの生徒数が800名未満の自治体」と「同800名以上の自治体」の2つに分け、アンケート調査とのクロス集計を行った。800名で母集団を分割した理由は、3(1)と同じである。

(2) ALT1人当たりの中学校生徒数×

アンケート調査クロス集計結果

※A：「とてもそう思う」/B：「どちらかと言えばそう思う」（←肯定的回答）

C：「どちらかと言えばそう思わない」/D：「ほとんどそう思わない」（←否定的回答）

【Q1：英語の勉強は楽しい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	25.3%	42.8%	22.6%	9.2%
	肯定的 68.1%		否定的 31.8%	
800名以上	21.6%	41.3%	25.1%	12.0%
	肯定的 62.9%		否定的 37.1%	

【Q2：これからも英語を学び続けたい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	31.7%	40.9%	19.3%	8.0%
	肯定的 72.6%		否定的 27.3%	
800名以上	31.1%	39.7%	20.3%	8.9%
	肯定的 70.8%		否定的 29.2%	

【Q3：外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	30.1%	40.8%	22.3%	6.9%
	肯定的 70.9%		否定的 29.2%	
800名以上	27.9%	38.7%	24.4%	9.0%
	肯定的 66.6%		否定的 33.4%	

【Q4：自分の考えや気持ちを英語で伝えてみたい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	31.7%	34.1%	24.2%	10.0%
	肯定的 65.8%		否定的 34.2%	
800名以上	29.8%	33.6%	24.6%	12.0%
	肯定的 63.4%		否定的 36.6%	

【Q5：外国の人に英語で質問されたら、英語で答えてみたい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	44.9%	34.3%	13.7%	7.1%
	肯定的 79.2%		否定的 20.8%	
800名以上	42.6%	34.9%	13.9%	8.5%
	肯定的 77.5%		否定的 22.4%	

【Q6：外国の人たちと英語で話してみたい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	39.4%	31.1%	20.1%	9.4%
	肯定的 70.5%		否定的 29.5%	
800名以上	36.2%	32.0%	20.6%	11.1%
	肯定的 68.2%		否定的 31.7%	

【Q7：外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	20.5%	32.1%	32.2%	15.2%
	肯定的 52.6%		否定的 47.4%	
800名以上	19.9%	30.1%	32.6%	17.4%
	肯定的 50.0%		否定的 50.0%	

【Q8：外国の友だちを作りたい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	35.2%	34.1%	20.0%	10.7%
	肯定的 69.3%		否定的 30.7%	
800名以上	33.9%	32.1%	21.6%	12.4%
	肯定的 66.0%		否定的 34.0%	

【Q9：外国のテレビ番組や映画を英語のままで見たい。】

生徒数/ALT1人	A	B	C	D
800名未満	30.0%	29.4%	25.1%	15.4%
	肯定的 59.4%		否定的 40.5%	
800名以上	30.8%	30.0%	24.0%	15.2%
	肯定的 60.8%		否定的 39.2%	

【Q10：英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読んでみたい。】

生徒数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	19.9%	29.6%	32.5%	18.1%
	肯定的 49.5%		否定的 50.6%	
800名以上	20.2%	29.0%	31.5%	19.2%
	肯定的 49.2%		否定的 50.7%	

【Q11：将来、英語を使うような生活をしたり仕事をしたりしたい。】

生徒数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	12.6%	26.1%	38.2%	23.0%
	肯定的 38.7%		否定的 61.2%	
800名以上	13.2%	23.0%	39.2%	24.5%
	肯定的 36.2%		否定的 63.7%	

【Q12：学んだ英語を活かして、将来の生活や仕事の役に立てたい。】

生徒数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	26.7%	36.3%	24.8%	12.2%
	肯定的 63.0%		否定的 37.0%	
800名以上	26.8%	35.3%	23.9%	14.0%
	肯定的 62.1%		否定的 37.9%	

【Q13：外国の人と一緒に仕事したい。】

生徒数／ALT1人	A	B	C	D
800名未満	16.0%	33.9%	34.7%	15.3%
	肯定的 49.9%		否定的 50.0%	
800名以上	14.9%	31.3%	36.2%	17.7%
	肯定的 46.2%		否定的 53.9%	

(3) ALT1人当たりの中学校生徒数× アンケート調査から予想されること

アンケート調査の13問中12問(92.3%)で、ALT1人当たりの生徒数が800名未満の自治体が、同800名以上の自治体より肯定的な回答(「とてもそう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」)をした中学校3年生の割合が高くなっている。



自治体ごとに、より多くのALTを配置する（=ALT1人当たりの生徒数をより少なくする）ことによって、中学生の英語学習や実際の場面での英語使用に対する肯定感を高めることができる可能性が高い。

また、上記12問の内4問では両者の差が3ポイント以上で、ALT1人当たりの生徒数が800名未満の自治体の方がQ1（英語の勉強は楽しい）で5.2ポイント、Q3（外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい）で4.3ポイント、Q8（外国の友だちを作りたい）で3.3ポイント、Q13（外国の人と一緒に仕事したい）で3.7ポイント高くなっている。



自治体ごとに、より多くのALTを配置する（=ALT1人当たりの生徒数をより少なくする）ことによって、中学生の英語学習に対する肯定感、外国の人たちや異文化に対する興味関心、外国の人たちと関わろうとする意欲が高まる可能性がある。

さらに、肯定的な回答の内「とてもそう思う」に絞って見てみると、ALT1人当たりの生徒数が800名未満の自治体と同800名以上の自治体より2ポイント以上高くなっているのは2問である。具体的には、ALT1人当たりの生徒数が800名未満の自治体の方が、Q1（英語の勉強は楽しい）で3.7ポイント、Q6（外国の人たちと英語で話してみたい）で3.2ポイント高くなっている。



自治体ごとに、より多くのALTを配置する（=ALT1人当たりの生徒数をより少なくする）ことによって、英語学習に対して強い肯定感を持ったり、実際の場面で英語を用いてコミュニケーションを図ることに強い意欲を持ったりする中学生が増える可能性がある。

6. ALTの授業参加頻度が 中学生の英語に対する意識に及ぼす影響

(1) 分析手法

小学校と同様に、ALTの英語の授業への参加頻度が中学生の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響を探るため、ALT1人当たりの生徒数が800名未満の(=ALTの配置割合がより高い)自治体を対象として、ALTの英語への授業の参加頻度が「週に3回程度」、「週に2回程度」、「週に1回程度」の3つのグループに分け、アンケート調査とのクロス集計を行った。なお、中学校における「外国語」は、週4単位が配当されている。

(2) ALTの中学校の英語授業への参加頻度× アンケート調査クロス集計結果

※A:「とてもそう思う」/B:「どちらかと言えばそう思う」(←肯定的回答)

C:「どちらかと言えばそう思わない」/D:「ほとんどそう思わない」(←否定的回答)

【Q1:英語の勉強は楽しい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	40.5%	40.5%	14.3%	4.8%
週に2回程度	25.8%	42.2%	24.4%	7.6%
週に1回程度	24.4%	43.4%	22.4%	9.8%

【Q2:これからも英語を学び続けたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	44.7%	36.2%	13.2%	5.8%
週に2回程度	30.2%	42.4%	21.0%	6.5%
週に1回程度	31.6%	41.1%	18.6%	8.7%

【Q3：外国の人たちや外国のことについてもっと知りたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	38.3%	34.8%	21.0%	5.9%
週に2回程度	31.6%	41.5%	21.6%	5.3%
週に1回程度	29.2%	41.9%	21.6%	7.3%

【Q4：自分の考えや気持ちを英語で伝えてみたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	38.6%	18.9%	34.0%	8.5%
週に2回程度	33.1%	25.5%	33.6%	7.9%
週に1回程度	31.2%	23.8%	34.7%	10.4%

【Q5：外国の人に英語で質問されたら、英語で答えてみたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	49.5%	32.0%	11.9%	6.6%
週に2回程度	44.7%	34.8%	14.5%	6.0%
週に1回程度	45.1%	34.6%	13.3%	7.0%

【Q6：外国の人たちと英語で話してみたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	45.0%	29.4%	18.0%	7.7%
週に2回程度	41.1%	29.9%	20.5%	8.5%
週に1回程度	38.9%	31.9%	19.9%	9.3%

【Q7：外国の人たちと英語でメールや手紙のやり取りをしてみたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	25.7%	34.7%	27.1%	12.5%
週に2回程度	21.5%	33.2%	32.8%	12.5%
週に1回程度	20.5%	31.8%	32.3%	15.4%

【Q8：外国の友だちを作りたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	36.8%	17.2%	34.9%	11.1%
週に2回程度	36.0%	19.8%	34.6%	9.7%
週に1回程度	34.9%	20.5%	34.0%	10.6%

【Q9：外国のテレビ番組や映画を英語のままで見たい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	33.6%	32.5%	21.3%	12.5%
週に2回程度	28.8%	31.8%	25.1%	14.3%
週に1回程度	30.9%	28.6%	24.8%	15.7%

【Q10：英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読みたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	24.8%	34.4%	27.5%	13.3%
週に2回程度	18.5%	31.5%	33.3%	16.7%
週に1回程度	20.4%	29.3%	31.9%	18.3%

【Q11：将来、英語を使うような生活をしたり仕事をしたりしたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	12.8%	31.2%	36.3%	19.7%
週に2回程度	11.6%	27.8%	40.0%	20.7%
週に1回程度	13.4%	25.7%	37.4%	23.4%

【Q12：学んだ英語を活かして、将来の生活や仕事の役に立てたい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	30.5%	22.7%	37.2%	9.6%
週に2回程度	24.9%	25.2%	38.9%	11.0%
週に1回程度	27.6%	24.4%	35.9%	12.2%

【Q13：外国の人と一緒に仕事したい。】

ALT参加頻度	A	B	C	D
週に3回程度	19.7%	36.0%	30.1%	14.1%
週に2回程度	15.7%	34.6%	35.6%	14.1%
週に1回程度	16.3%	34.1%	34.5%	15.0%

(3) ALTの中学校の英語授業への参加頻度× アンケート調査から予想されること

ALT1人当たりの生徒数が800名未満の自治体グループに絞ってクロス集計を行ったが、アンケート調査13問中Q11（将来、英語を使うような生活をしたり仕事をしたりしたい）を除く12問（92%）で、ALTの授業への参

加頻度が最も高い（週に3回程度）自治体で「とてもそう思う」と回答した中学校3年生の割合が最も高くなっている。



ALTの授業への参加頻度を上げる（週当たりの授業参加回数を増やす）ことによって、英語学習、外国の人々や異文化、現在及び将来の英語使用に対して強い意欲や興味関心を持つ中学生が増える可能性が高い。

7. ALTの授業参加頻度が 中学生の英語力に及ぼす影響

(1) 英語テストの構成・内容

中学生に対して実施した英語テストは、次の構成及び内容とした。

〈構成〉 問題数：計20問

難易度：○大問1（設問1～9）
 大問2（設問10～14） } ⇒ 英検4級レベル相当
 大問3（設問15～17） }
○大問4（設問18～20） } ⇒ 英検3級レベル相当

〈内容〉（問題サンプル）

大問1：語彙、熟語、文法に関する空所補充問題で選択式（9問）

例1 Jack often goes to the () after school. He Loves to read books there.
1 dictionary 2 speaker 3 library 4 textbook

例2 A: Jake, does your brother like basketball?
B: No, he doesn't. He is not () in sports.
1 fun 2 interested 3 fast 4 played

例3 A: What is this? I've never tried it.
B: It's soy sauce. It's () from soybeans.
1 makes 2 made 3 making 4 make

大問3／大問4：長文問題で選択式（各3問）

Happy to Help

James and Keiko went downtown to do some shopping. Because it was sunny, they decided to buy some lunch and eat it in park nearby. They sat down under one of the trees and ate the sandwiches they had bought.

While eating, Keiko saw something black beside her and picked it up. "Is this your wallet?" she asked. "No, that's not mine. I have a blue one," said James. Keiko said, "We should take it to the police box."（以下、省略）

例 What did Keiko find beside her?

- 1 A box.
- 2 Someone's wallet.
- 3 A sandwich.
- 4 James' bag.

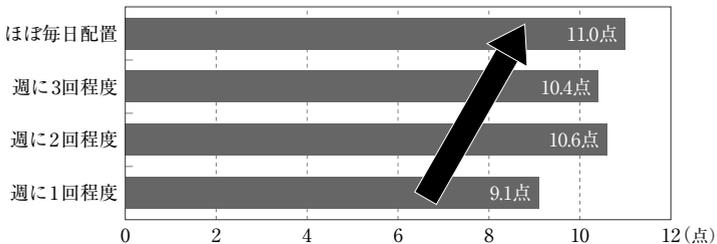
(2) 分析手法

ALTの英語授業への参加頻度が中学生の英語力に与える影響を探るため、本調査で英語テストを受験した中学校を、ALTの英語への授業の参加頻度が「ほぼ毎日配置」、「週に3回程度」、「週に2回程度」、「週に1回程度」の4つのグループに分け、テスト結果とクロス集計を行った。

(3) ALTの中学校の英語授業への参加頻度× 英語テストクロス集計結果

① ALTの中学校の英語授業への参加頻度×英語テスト平均点

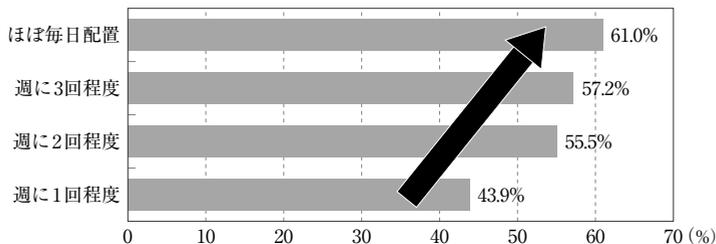
ALTが週1回程度以上授業に参加している中学校の英語テスト平均点(／20)



ALTが週に1回程度以上授業に参加している中学校の英語テスト結果を比較すると、「ほぼ毎日配置」され授業に参加している学校の平均点が11.0(正答率55.0%)で最も高く、「週1回程度」授業に参加している学校の9.1(正答率45.5%)が最も低く、その差は1.9となっている。また、「週2回程度」参加している学校を除けば、ALTの参加回数が多いほど平均点は高くなっている。

② ALTの中学校の英語授業への参加頻度×英語テスト10点（正答率50%）以上得点者

ALTが週1回程度以上授業に参加している中学校の英語テスト10点（／20）以上得点者の割合



ALTが週に1回程度以上授業に参加している学校の英語テスト結果を比較すると、「ほぼ毎日配置」され授業に参加している学校では10点以上（正答率50%以上）の得点者が61.0%で最も高く、「週1回程度」授業に参加している学校の43.9%が最も低く、その差は17.1%となっている。また、ALTの参加回数が多いほど10点以上の得点者割合は高くなっている。

③ ALTの中学校の英語授業への参加頻度×英語テスト各設問正答率

ALTの授業参加頻度別各設問正答率

〈設問1～設問4：語彙問題（平均正答率71.1%）〉

	設問1	設問2	設問3	設問4
ほぼ毎日配置	81.8%	49.1%	83.0%	85.2%
週に3回程度	74.8%	56.8%	79.6%	82.8%
週に2回程度	69.7%	50.5%	71.4%	78.8%
週に1回程度	45.5%	37.9%	66.7%	75.8%

〈設問5～設問7：熟語問題（平均正答率47.4%）〉

	設問5	設問6	設問7
ほぼ毎日配置	39.0%	45.9%	37.7%
週に3回程度	44.4%	49.6%	40.0%
週に2回程度	45.0%	49.0%	40.7%
週に1回程度	45.5%	53.0%	45.5%

〈設問8～設問9：文法問題（平均正答率 50.9%）〉

	設問8	設問9
ほぼ毎日配置	64.8%	40.9%
週に3回程度	59.6%	29.6%
週に2回程度	59.2%	36.8%
週に1回程度	60.6%	28.8%

〈設問10～設問14：会話文補充問題（平均正答率 56.3%）〉

	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14
ほぼ毎日配置	57.9%	37.1%	82.4%	38.4%	54.7%
週に3回程度	59.6%	28.8%	70.8%	40.4%	50.4%
週に2回程度	58.0%	38.0%	75.1%	43.2%	55.0%
週に1回程度	60.6%	39.4%	72.7%	42.4%	53.0%

〈設問15～設問17：長文内容一致問題（英検4級レベル）（平均正答率 55.9%）〉

	設問15	設問16	設問17
ほぼ毎日配置	67.9%	62.3%	47.2%
週に3回程度	60.4%	56.8%	43.2%
週に2回程度	63.8%	56.2%	43.3%
週に1回程度	40.9%	36.4%	28.8%

〈設問18～設問20：長文内容一致問題（英検3級レベル）（平均正答率 43.1%）〉

	設問18	設問19	設問20
ほぼ毎日配置	47.2%	47.2%	32.7%
週に3回程度	46.0%	37.6%	29.2%
週に2回程度	49.4%	45.3%	27.5%
週に1回程度	21.2%	27.3%	24.2%

ALTが週に1回程度以上授業に参加している中学校の英語テスト結果を比較すると、「ほぼ毎日配置」され授業に参加している中学校では、全20問中11問（55%）で正答率が最も高い。特に、長文に関する質問に答える設問15～20（設問15～17は英検4級レベル、設問18～20は英検3級レベル）では、6問中5問（83.3%）で正答率が最も高い。



ALTの授業への参加頻度を高くする（週当たりの授業参加回数を増やす）ことによって、筆記テストで測られる英語力を向上させることができる可能性が高い。また、ALTがほぼ毎日配置されて授業に参加している環境下であれば、中学校卒業程度とされる英検3級レベル（日本英語検定協会による）の問題にも対応できる英語力を身に付ける中学生がより多くなる可能性がある。

8. 調査結果の総論

ALTが英語の授業に配置されている小学校6年生及び中学校3年生に対して実施した本調査（アンケート調査及び英語テスト）について、上述の3～7の分析結果をまとめると、次の通りである。

	検証事項	分析結果
①	自治体ごとのALT1人当たりの児童・生徒数（ALTの配置割合）が、小学生・中学生の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響	自治体ごとに、小・中学校により多くのALTを配置する（ALT1人当たりの児童・生徒数をより少なくする）ことによって、小・中学生の ・英語学習への動機付け ・現在及び将来の英語使用に対する肯定感 ・外国の人々や異文化に対する興味関心を高めることができると考えられる。
②	ALTの英語授業への参加頻度が、小学生（6年生）の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響	ALTの授業への参加頻度を上げる（週当たりの授業参加回数を増やす）ことによって、 ・英語の読み書き ・現在及び将来の英語使用 に対して強い意欲を持つ小学生が増える可能性があると考えられる。
③	ALTの英語授業への参加頻度が、中学生（3年生）の英語学習や英語との関わりに対する意識に及ぼす影響	ALTの授業への参加頻度を上げる（週当たりの授業参加回数を増やす）ことによって、 ・英語学習 ・外国の人々や異文化 ・現在及び将来の英語使用 に対して強い意欲や興味関心を持つ中学生が増える可能性があると考えられる。
③	ALTの英語授業への参加頻度が、中学生（3年生）の英語力に及ぼす影響	ALTの授業への参加頻度を上げる（週当たりの授業参加回数を増やす）ことによって、中学生の英語力（本調査においては、語彙・熟語・文法力、会話文・長文の読解力）を高めることができると考えられる。

9. 終わりに

ALTの配置効果を正確に検証するためには、本来であれば、ALTが配置されている学校と配置されていない学校とを比較対象とする必要がある。しかし、実際には既に全国ほとんどの小・中学校にALTが配置されているため、本調査においては、ALT1人当たりの児童・生徒数（ALTの配置割合）及びALTの英語授業への参加頻度の差が、小学生・中学生の英語への動機付けや中学生の英語力にどのような影響を与えるかを調査した。

本調査によって、ALTの配置効果について一定程度の客観的なデータが得られたと考えている。今後は、本調査を継続して各データの変容を見るとともに、ALTのより効果的な活用法について研究を進めていく必要がある。特に高等学校では、他校種と比べALTの活用について消極的な姿勢が見られる。文部科学省の「外国語指導助手（ALT）等の任用・契約形態別人数等の状況（平成29年度）」によれば、「ALT（JETプログラム、直接任用、労働者派遣契約、請負契約）が活用されている授業時数の割合」は、平成28年度実績で小学校5・6年生が62.4%（26年度：59.8%）、中学校が21.9%（26年度：21.5%）、高等学校が10.8%（26年度：8.7%）となっている。授業で扱う内容がより高度になる高等学校でこそALTによるサポートが必要になると考えられるが、実際には高等学校でのALT活用率は著しく低い。授業指導だけではなく、パフォーマンステストによる学習評価での活用などについて研究することによって、英語教育のさらなる改善に資する具体的な提案をしていきたい。

最後に、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない状況にあって、アンケート調査や英語テストに快く御協力いただいた全国各地の教育委員会、小・中学校の先生方と児童・生徒の皆さん、さらに、本調査研究を計画・実施するに当たって多大なる御尽力をいただいたリンク・イントラックのスタッフに心より御礼を申し上げたい。

(参考文献)

- The Japan Exchange and Teaching Programme ホームページ, 『JETとは』,
<http://jetprogramme.org/ja/about-jet/>
- 文部科学省 (2020), 『令和元年度「英語教育実施状況調査」概要』, https://www.mext.go.jp/content/20200715-mxt_kyoiku01-000008761_2.pdf
- 文部科学省 (2015), 『平成 26 年度「小学校外国語活動実施状況調査」の結果について』, https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1362148.htm
- 文部科学省 (2018), 『平成 29 年度英語力調査結果 (中学 3 年生) の概要』, https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403470_02_1.pdf
- 国立教育政策研究所 (2019), 『平成 31 年度全国学力・学習状況調査の問題・正答例・解説資料について』, <https://www.nier.go.jp/19chousa/19chousa.htm>
- 公益財団法人日本英語検定協会ホームページ, 『各級の目安』, <https://www.eiken.or.jp/eiken/exam/about/>
- 文部科学省 (2018), 『外国語指導助手 (ALT) 等の任用・契約形態別人数等の状況 (平成 29 年度)』, https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403469_05.pdf